

表 ルーラ大統領の各国・地域との首脳会談の概要

会談者	国・地域	概要
ナレンドラ・モディ首相	インド	・両国の共同声明では、75年にわたる外交関係を持ち、共通の価値観に基づいて両国間の関係が繁栄したことを強調。 ・防衛産業、飢餓対策、食料安全保障、気候変動、エネルギー転換などの分野で引き続き連携を強化するとした。 ・両国で農業や製薬分野におけるハイレベルのビジネスフォーラムを開催することが決定された。航空宇宙分野でもパートナーシップを開始する。
レジェップ・タイップ・エルドアン大統領	トルコ	・ルーラ大統領は防衛分野における両国間の戦略的パートナーシップを再活性化することに加え、国際社会においてトルコとの立場の調整を深めたいと述べた。 ・航空産業にも言及し、トルコのターキッシュ・エアラインズ社が計画する新たな買収の件に関して、同社とブラジルのエンブラエル社との間の協議を促進する準備ができているとした。
〔欧州委員会〕ウルズラ・フォン・デア・ライエン委員長 〔欧州理事会〕シャルル・ミシェル常任議長	EU	・ルーラ大統領は、EU・メルコスールFTAに関して、メルコスール側の準備は出来ており、EUに明確な立場をとるように要求。また環境分野に関するサイドレターは受け入れられないと強調。 ・ルーラ大統領は、7月に開催されたEU・CELAC首脳会合を評価。EU・ブラジル首脳会合の再開催への関心を伝えた。
エマニュエル・マクロン大統領	フランス	・ルーラ大統領はマクロン大統領の初となるブラジル訪問を依頼。対してマクロン大統領は、2024年の上半期にブラジル訪問へする可能性を示唆。 ・両首脳は防衛や環境などの分野における協力について協議。 ・ルーラ大統領は、EU・メルコスールFTAに関して、メルコスール側の準備は出来ており、EUに明確な立場をとるように要求した。また環境分野に関するサイドレターは受け入れられないと強調した
ムハンマド・ビン・サルマン皇太子兼首相	サウジアラビア	・サウジアラビアのBRICS加盟を祝福し、グリーンエネルギー、環境、鉱業、観光、防衛、石油の分野におけるサウジアラビアのブラジルへの投資の可能性について議論。 ・8月にブラジルで発表された「新成長加速プログラム（NOVO PAC）」を視察するため、サウジアラビアからミッションを派遣することで合意。
マルク・ルッテ首相	オランダ	・ルッテ首相は、次期G20に向けブラジルが掲げた3つの優先事項と2つのタスクフォースを支持。 ・ルーラ大統領はエネルギー転換が両国間の協力テーマになるとし、船舶用のバイオ燃料と低排水素が主な関心であるとした。 ・オランダによるブラジルへのグリーン水素製造プロジェクトに3,800万ドルの投資が発表された。
アブドゥルフアッターハ・エルシーシ大統領	エジプト	公開情報なし。

（出所）ブラジル政府発表を基にジェトロ作成